

第5回ワークショップ討議内容

テーマ①：これまでのワークショップの意見整理

これまでのワークショップ（第1回～第4回）で議論した意見の振り返りを行い、意見交換を行いました。

まとめ

主な意見

■施設分類ごとの意見

【改良住宅】【コミュニティセンター】【児童館】【その他福祉施設】【その他保健施設】

- ・設置当初の目的や歴史的経緯を踏まえ、また、地域の住民の意見を聞いて再編を考えていく必要がある
- ・設置当初の目的を達成したかで再編を判断する必要がある
- ・耐震性に問題がないのであれば、利用している人を尊重して施設を存続させるが、更新は行わなくてよいのではないか
- ・全市的な施設（文化ホールや体育館等）をこれらの施設の周辺に新たに配置し、利便性を上げることにより、同和対策施設を廃止することも考えられる

【改良住宅】

- ・同和対策や住環境改善のための事業等により整備された経緯があるので、廃止するのであれば、優先的に公営住宅に入居できることと、コミュニティの維持が条件となる
- ・建物の老朽化が進んでいるが、現在の入居者に配慮し、建替えのタイミングで必要性を検討してはどうか
- ・建物を存続させるのであれば、入居条件を変えて公営住宅として使えるようにしてはどうか

【集会施設】

- ・存続させるのであれば有料化を検討してはどうか
- ・利用率を上げるため、地域の方だけでなく、市全体で広域的に利用できるようにしてはどうか

【コミュニティセンター】

- ・避難場所なので廃止の対象ではないと思うが、人口減少を考えると面積を減らすことは考えられる
- ・使っていない部屋を有効活用として、新しい使い方を考える（例：子ども食堂など）
- ・施設が老朽化しているので、建替えの際には、その他福祉施設や集会所などの周辺施設と集約して、規模を縮小することが考えられる
- ・一部の人や地域の方が利用している施設の全市的利用方法について検討し、公平性を確保してほしい

【子育て施設】

- ・子育て施設が八木駅前と白樫地区にしかないため、再配置してアクセスの不公平さをなくしてはどうか
- ・子育てに関する相談窓口をしっかりと整備し、施設間の連携を強化するのがよい
- ・子育て施設は、小学校区ごとに分散していてもいいのではないか
- ・小学校に子育て系の施設をまとめ、1箇所で子育ての悩み等を解決できるようにしたほうがいいのではないか
- ・人口減少が前提ではなく、子育て施設を充実させ、若い世代の人口を増やすことを考えるべきだ
- ・こども広場の利用時間は17時で終了となるが、17時以降も活用してはどうか

【障がい者福祉施設】

- ・行政が運営している施設は1施設だけなので、一人でも利用者がいれば必要ではないか
- ・民間で類似のサービスがあるため、行政と民間のサービスを精査してから再編を検討すべき
- ・民間に類似サービスがたくさんあるならば、行政は利用者に民間に関する情報を提供し、民間施設と利用者のマッチングの役割だけで済むのではないか

【その他福祉施設】

- ・建替えの際には、コミュニティセンターや集会所などの周辺施設と集約して、規模を縮小することが考えられる

【観光案内所】

- ・観光交流センターは多機能になっているが、新分庁舎ができるタイミングなので、機能を1つに絞るか、各機能を適切なところに分散して建物を廃止してはどうか
- ・アクセスをよくするため、八木駅前南側ロータリー、駐車場の再整備に力を入れて取り組んでほしい

■その他意見

- ・耐震性能を満たしていない公共施設については更新をしないことにしてはどうか
- ・新駅構想があるエリアなどでは、まちづくりの観点を踏まえて、再編を考えていく必要がある
- ・効率化＝民営化だけではないと思うので、まず、行政が運営する際の効率化を考えていくべき
- ・人口が減るという前提で話をしているが、人口を増やす対策も必要ではないか

A グループの意見

●意見まとめ

■施設分類ごとの意見

【改良住宅】

- ・ 同和対策や住環境改善のための事業等により整備された経緯があるので、廃止するのであれば、優先的に公営住宅に入居できることと、コミュニティの維持が条件となる

【コミュニティセンター】

- ・ 避難場所なので廃止の対象ではない
- ・ 部屋ごとの稼働率に差があると思うし、今後、人口減少が見込まれるので、建替えの際には、施設規模を縮小することが考えられる
- ・ 施設が老朽化しているので、建替えの際には、その他福祉施設や集会所などの周辺施設と集約して、規模を縮小することが考えられる

【障がい者福祉施設】

- ・ 行政が運営している施設は1施設だけなので、一人でも利用者がいれば必要ではないか

【その他福祉施設】

- ・ 建替えの際には、コミュニティセンターや集会所などの周辺施設と集約して、規模を縮小することが考えられる

■その他の意見

- ・ 「効率化＝民営化」ではなく、まず、行政が運営する際の効率化を考えてほしい
- ・ 人口が減るという前提で話をしているが、人口を増やす対策も必要ではないか

施設分類	意見など
・改良住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・改良住宅は同和対策や住環境改善のための事業等により整備された経緯があるので、法律が失効しても、事業に協力した方々がまだ住んでいるので、廃止にはできない ・今後、廃止する場合には、優先的に公営住宅に入居できることと、コミュニティの維持が条件となる
・コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所に指定されているので、廃止の対象とはならないのでは ・利用されている方がいる中、耐震性能を満たしていないのは危険なので、耐震化が必要では ・活発に利用されており、周囲に同規模の代替施設もないので、廃止にはできない。ただし、部屋ごとの稼働状況に差があるだろうし、今後の人口も減少していくので、建替えの際には、施設規模を縮小することが考えられる ・施設が老朽化しているので、建替えの際には、周辺にある施設（集会所、その他福祉施設など）をできるだけ1つに集約させて、面積を減らすことが考えられる。例えば、飛驒地区には、ふれあいセンターや老人憩いの家等がまとまっているので、1箇所に集約する
・障がい者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持つ方々が集まって訓練する施設であり、行政が運営している施設は1施設だけなので、廃止検討の対象ではないのでは ・利用者が少なくても、一人でもいれば必要ではないか ・廃止を検討するのではなく、利用者数を踏まえて適正な規模への見直しを考えることが必要
・その他福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・機能を廃止できないなら、建替えの際に、周辺にある施設（集会所、コミュニティセンターなど）をできるだけ1つに集約させて、面積を減らすことも考えられる。例えば、飛驒地区には、ふれあいセンターや老人憩いの家等がまとまっているので、1箇所に集約する

【その他の意見】

- ・明日香村の健康福祉センターのような複合施設が榎原市にもあったらよい
- ・必ずしも、民営化＝効率化では無い。まず、行政が運営する際の効率化を考えて欲しい
- ・人口を増やす対策も必要ではないか

B グループの意見

●意見まとめ

■施設分類ごとの意見

【改良住宅】【集会施設】【コミュニティセンター】【児童館】【その他保健施設】【その他福祉施設】

- ・再編を検討する際には、施設ができた経緯と地域の意見を聞いて判断する必要がある
- ・設置当初の目的を達成したかで再編を判断する必要もある
- ・全市的な施設（文化ホールや体育館等）をこれらの施設の周辺に新たに配置し、利便性を上げることにより、同和対策施設を廃止していくことも考えられる

【障がい者福祉施設】

- ・民間で類似サービスがあるため、行政と民間のサービスを精査してから再編を検討すべき
- ・民間に類似サービスがたくさんあるならば、行政は利用者に民間に関する情報を提供し、民間施設と利用者のマッチングの役割だけで済むのではないか

【子育て施設】

- ・小学校に子育て系の施設をまとめ、1箇所の子育ての悩み等を解決できるようにしたほうがいいのか
- ・子育て施設は、小学校区ごとに分散していてもいいのではないか
- ・観光交流センターにあるこども広場の利用時間が17時までで、建物が暗くなっている。駅前の景観としてよくないので、17時以降も活用してはどうか（例えば、仕事をしている世帯の子育て支援等）

施設分類	意見など
<ul style="list-style-type: none"> ・改良住宅 ・集会施設 ・コミュニティセンター ・児童館 ・その他保健施設 ・その他福祉施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化に合わせて同和対策施設の必要性を検証する必要があるのではないか。当初の目的を達成していれば不要、まだ達成していなければ必要である ・施設の必要性については、施設ができた経緯と、その地域の住民の意見を聞いて判断しないといけない ・地域に住む人以外は、同和対策施設に対する関心が低い ・全市的な施設を設置して利用できるほうが良いのではないか
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいセンターふじわらは、地域の方が多く利用されているので必要だと思う。ただし、外観が汚れていたり、クーラーが故障したりしている
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間で類似サービスがあるので行政が担う必要があるのか疑問である。行政と民間それぞれのサービスの現状を整理した上で、提供するサービスの棲み分けを考えるとよいのではないか ・民間に類似サービスがたくさんあるならば、行政は利用者に民間に関する情報を提供し、民間施設と利用者のマッチングの役割だけで済むのではないか ・障がい者福祉施設は、周囲に公共施設がない場所（孤立した場所）にあるよりも、周囲に公共施設がある場所に立地したり、他の施設と複合化した方が、障がい者が社会へ出る手助けになるのではないか
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターはよく利用されている印象があるので、今のままでもよいのではないか ・北部（八木駅前）と南部（白櫃）に分かれて立地しているので、今のままでもよいのではないか ・小学校に子育て系の施設をまとめて、1箇所子育ての悩み等を解決できるようになったほうが良いのではないか ・子育て施設は、小学校区ごとに分散していてもいいのではないか ・観光交流センターのこども広場は、保育士が3人くらいで子どもの面倒を見てくれるので安心できる。ただし、サービスは17時までであり、建物が暗くなり駅前の景観として寂しいので、17時以降の使い方を考えたほうが良い ・こども広場がある観光交流センターに子育て施設をまとめてはどうか

C グループの意見

●意見まとめ

■施設分類ごとの意見

【集会施設】【コミュニティセンター】【児童館】【その他保健施設】

- ・地域の方が中心に利用しているが、全市的な利用方法について検討する

【コミュニティセンター】【児童館】

- ・老朽化したときに、今後どうするのかを検討する。それまでは、使っていない部屋の有効活用の方法を考えてはどうか（子ども食堂など）

【公営住宅】【集会施設】

- ・築年数が経っているので、入居者がいなくなったタイミングや建替えのタイミングで、必要性を検討する

【改良住宅】

- ・現在住んでいる方がいるため、老朽化も考慮し、建替えのタイミングで必要性を検討する

【観光案内所】

- ・子育て機能、ボランティアの集まり、観光案内所など多機能になっているが、新分庁舎ができるタイミングなので、1つの機能に絞るか、各機能を適切なところに分散して建物を廃止していくことを検討する
- ・アクセスをよりよくするため、八木駅前南側ロータリー、駐車場の再整備に力を入れて取り組んでほしい

【子育て施設】

- ・子育て施設が八木駅前と白樫地区にしかないため、再配置してアクセスの不公平さをなくす
- ・子育てに関する相談窓口をしっかりと整備し、施設間の連携を強化するのがよい
- ・子育て機能をより充実させ、若い世代の人口を増やしていくことを検討する

●議論した施設分類および具体の意見内容

Cグループ

施設分類	意見など
<ul style="list-style-type: none">・改良住宅・集会施設・コミュニティセンター・児童館・その他保健施設	<ul style="list-style-type: none">・様々な経緯があり、国の制度の下で設置されたものなので、廃止等の判断をするのは難しい・再編は、建替え時に検討する

<ul style="list-style-type: none"> ・集会施設 ・コミュニティセンター ・児童館 ・その他保健施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率が高ければ存続でよい ・民営化したくても、稼働率を把握した上で検討しなければ、実際に民営化するのは難しいのではないか ・地域の方が中心に利用しているが、全市的な利用方法について検討する
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター ・児童館 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した時に、今後どうするかを検討する。それまでは、有効活用（例えば、子ども食堂等）を考える
<ul style="list-style-type: none"> ・集会施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館等とは違い、無料で貸し出されているが、公営住宅の住民だけが利用できるような施設になっている ・集会施設の再編については、公営住宅の再編と合わせて考えていく必要がある
<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の程度や入居者の状況に応じて検討していく。耐震性能を満たしていない施設から順番に廃止していくのがよいのではないか ・既に古い団地は一部が壊されたり、リフォームされたりしている
<ul style="list-style-type: none"> ・改良住宅 	<ul style="list-style-type: none"> ・年金生活をしている高齢者に安く貸し出す等、空き室を積極的に活用してはどうか
<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センターには色々な機能が入っているが、1つの機能に絞って存続するか、機能を分散させて建物を廃止すべきではないか ・観光交流センターは立地がよいが、ロータリーが狭く車で行くには不便なため、対策が必要。ロータリーを改修して使い勝手を良くする、または観光交流センターの隣の空き地を買い取って駐車場にするなどの整備が必要 ・駅前に新分庁舎が出来たことで、観光交流センターの役割がより低くなったように思う ・5階ではボランティア団体が打ち合わせをしたり、安価でコピーができたりして便利なので、機能は残ってほしい（場所は観光交流センターでなくてもよい） ・3階のこども広場からは電車がよく見えて子どもに人気なため、今の場所が良い
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども関連の施設は八木駅前と白樫地区のみ。子育て支援センターは駐車場が広いが、多くの市民にとって遠い場所にあるので、子育て施設を分散して配置するか、アクセスをよくするべき ・子育て施設は市内2箇所にしかないため、かしはら万葉ホール内にも子育て施設を設置してほしい。かしはら万葉ホール自体は民営化し、子どもの遊具を豊富にする等、遊び場の機能を向上させてほしい ・子ども向けの施設の利便性を向上させて、子育てしやすい町として人口増加を目指す ・子ども向け施設（幼稚園、こども園、子ども総合支援センターなど）に相談窓口などを設置して、施設間の連携を強化するのが良い
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいまちとして人口増加するためにも、3歳児保育にするといいのではないか
<ul style="list-style-type: none"> ・博物館等 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども科学館と昆虫館は民営化せず、市で運営を続けてほしい

【その他の意見】

- ・子どもの安全確保のため、通学路の見直しが必要
- ・アクセス性の向上のためにコミュニティバスの整備が必要

D グループの意見

●意見まとめ

■施設分類ごとの意見

【コミュニティセンター】【児童館】【その他福祉施設】【その他保健施設】

- ・利用している人を尊重して施設を残し、更新はしない

【改良住宅】

- ・1世代のみの入居を条件としているため、現在空き家がある。建物を存続させるのであれば、入居条件を変え公営住宅として使えるようにしてはどうか
- ・耐震性能を満たしているのであれば、現在住んでいる人がいるので尊重して残し、更新をしない

【集会施設】

- ・存続させるのであれば、有料化をする
- ・地区の人だけでなく、市全体で広域的に利用できるようにして利用率を上げる

■その他の意見

- ・大久保地区は、近くに新駅構想があるので、まちづくりの観点から再編（統廃合等）を考えてはどうか
- ・築年数が古く、耐震化をしないと使えない公共施設については、更新をしない

●議論した施設分類および具体の意見内容

Dグループ

施設分類	意見など
・コミュニティセンター ・児童館 ・その他福祉施設 ・その他保健施設	・利用者がいるので尊重して残すが、更新はしなくていいのではないかと ・検討の指標として、利用率は重要ではないかと
・改良住宅	・空き家であっても維持費がかかるので、入居条件を変えて公営住宅にするなど、用途を変えて有効活用してはどうか ・現在住んでいる人がいるので、廃止するのは難しいのでは。 ・国の補助を受けて整備したものであるため、廃止するのは難しいのではないかと ・現入居者には空いている他の改良住宅や民間賃貸住宅に移ってもらい、廃止してはどうか
・集会施設	・他の公共施設は有料なので、集会施設を存続させるなら少額でも利用料をとってはどうか ・存続させるならば、利用率を上げるため、近くの住民だけが使うのではなく、他地域の市民も使えるようにしてはどうか
・その他福祉施設	・大久保町老人憩いの家や飛騨町老人憩いの家は利用率が低く、同じような施設が2つあるのであれば、1つにしてはどうか ・老人憩いの家の利用対象は高齢者で、遠くまで出歩けない人もいるため、一方を廃止するというのは難しいのではないかと

施設分類	意見など
<ul style="list-style-type: none"> 子育て施設 	<ul style="list-style-type: none"> 観光交流センターのこども広場は、小学生以上は利用できないため、未就学児と小学生の兄弟が一緒に利用できず不便である。利用形態の検討が必要ではないか 観光交流センターは駐輪場や駐車場がなく、使いにくい

【その他の意見】

- 公共施設の予約については、現状は予約台帳を係員がチェックしており非効率的なので、予約管理が効率的にできるように、インターネットなどの利用システムを構築する等、ソフト面を整備してほしい
- 市全体の施設について、築年数が古い施設は耐震化や更新はしなくていいのではないか
- 大久保地区は新駅構想があるので、新駅周辺の土地を有効活用できるよう、新駅周辺の公共施設は、まちづくりの観点から再編（他の施設を利用してもらい、建物を廃止）をしてはどうか